

# 新百合ヶ丘駅誕生の頃の思い出

平塚 征英

麻生区にお住いの皆さん、新百合ヶ丘の誕生の頃をご存知でしょうか？

私・平塚は現在、横浜市青葉区在住ですが、昭和45(1970)年に結婚した時は平尾団地に住んで、昭和50年に現在の青葉区たまプラーザに引っ越しました。

平尾団地には百合ヶ丘駅からバスが出ていましたが、残業で深夜になると、相乗りタクシーで帰宅したことが度々ありました。

百合ヶ丘駅近くで外食した事もなかったので、駅周辺の記憶は殆どありません。

昭和49(1974)年6月の新百合ヶ丘駅の開業から1年間は、新百合ヶ丘駅を利用したのですが、駅周辺の事はおろか、下車したバス停がどこにあったか、駅までのルートはどうだったかは殆ど記憶にありません。

津久井道にあった新百合ヶ丘駅に近くバス停で下車したのは確かですが、その後、斜面沿いの道を登って新百合ヶ丘駅に行った記憶だけが残っています。

資料の1ページの右側の地形図(昭和53年)では、開業後4年経っても新百合ヶ丘駅周辺は全く開発されておらず、駅南口近くにグラウンドがあるだけです。駅の北側は全くの自然のままです。

● \*\*\*\*\*

麻生小学校の場所は、以前巨大迷路「あ？めいず」があった！1988年(昭和63年)

- ・駅周辺の開発が進まず空き地だった新百合ヶ丘の公共施設用地に、仮施設でオープン
- ・現在は、麻生小学校の敷地になります
- ・大人気で多くの子供達で賑わったようです
- ・入口でタイムカードを押して、迷路内に設置された4ヶ所のポイントで、「あ」「め」「い」「ず」の4文



図の①付近が現在の「新百合ヶ丘駅入口」交差点なので、現在の「麻生警察署前」交差点は少し西へ進み、平尾団地からの道が津久井道に交わるT字路付近なのでしょう。

昔のことをご存知の方がおりましたら、話をお聞かせ下さい。何かの機会に「お話し会」でも開ければ良いですね。

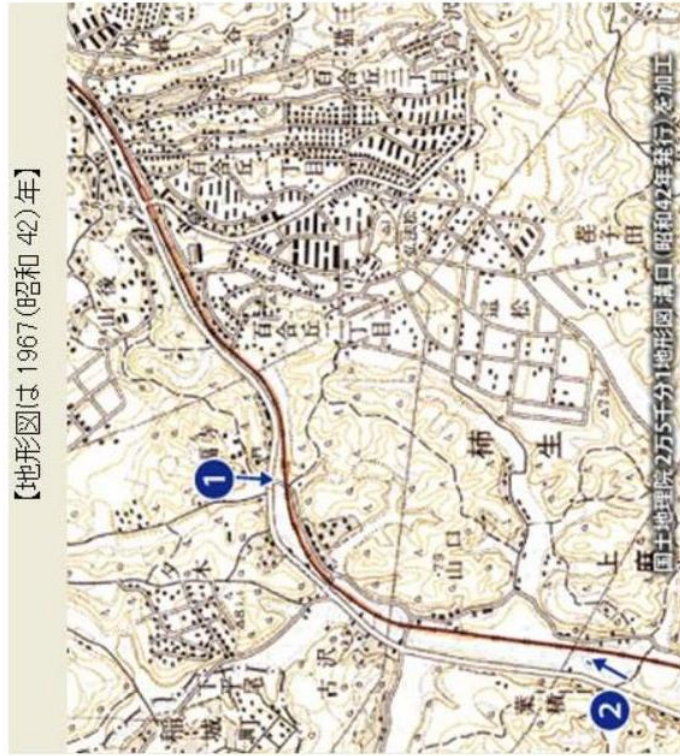
以上

## 新百合ヶ丘の誕生

現在の「新百合ヶ丘駅」付近は、かつては「百合ヶ丘」の造成地に隣接する丘陵で約 65%が山林という土地であった。「小田急電鉄」の「多摩ニュータウン」への新線建設を機に「新百合ヶ丘駅」が建設され、1974(昭和 49)年に開業したが、

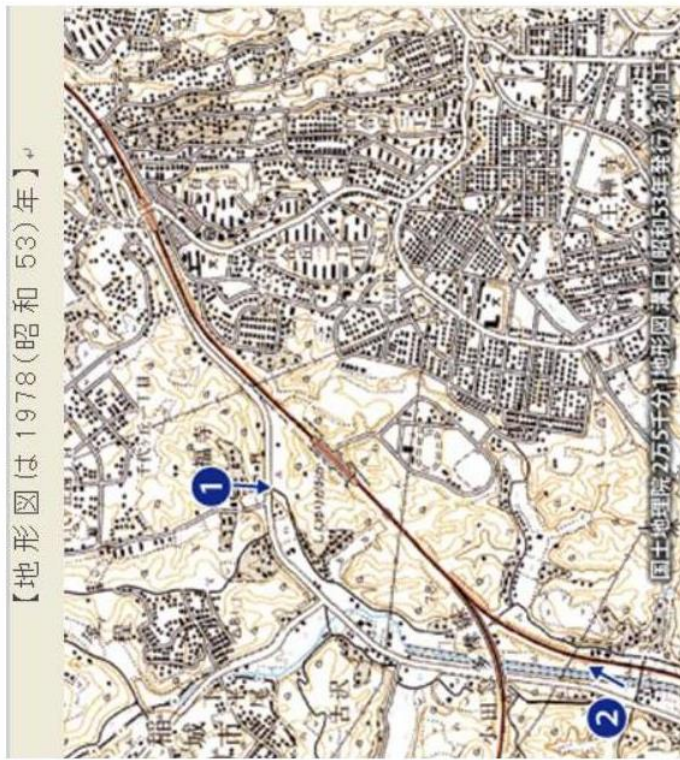
土地区画整理事業が進むまで、駅の周辺にはクスギやコナラの雑木林が広がっていた。

### 小田急線の付け替え



【地形図は 1967(昭和 42)年】

1967(昭和 42)年と 1978(昭和 53)年の地形図を見比べると、後の「新百合ヶ丘駅」付近は、かつては「百合ヶ丘」の造成地に隣接する丘陵地で、1967(昭和 42)年の地形図①付近のように小田急線は S 字のカーブで丘陵地を避ける、「津久井道」に概ね並行したルートであった。



【地形図は 1978(昭和 53)年】

1968(昭和 43)年、「小田急電鉄」は東京都などが開発を進めていた「多摩ニュータウン」へのアクセス路線(現・多摩線)と、その分岐駅となる新駅を百合ヶ丘・柿生間に作る計画を発表。1970(昭和 45)年に着工、多摩線と丘陵地を貫く直線的な小田原線の新線、分岐駅となる新駅「新百合ヶ丘駅」が建設され、1974(昭和 49)年 6 月 1 日「開通・開業」した。



写真は、旧線が新線に切り替わる直前の1974(昭和49)年5月の撮影。場所は旧線の「百合ヶ丘2号踏切」で、上地形図の①付近。【画像は1974(昭和49)年】



同地点付近の現在の様子。バス停の先の交差点がかつての踏切付近。写真には写っていないが、交差点から左方向に延びる歩行者専用道路が線路跡となる。この交差点の先に「新百合ヶ丘駅」北口のロータリーがある。

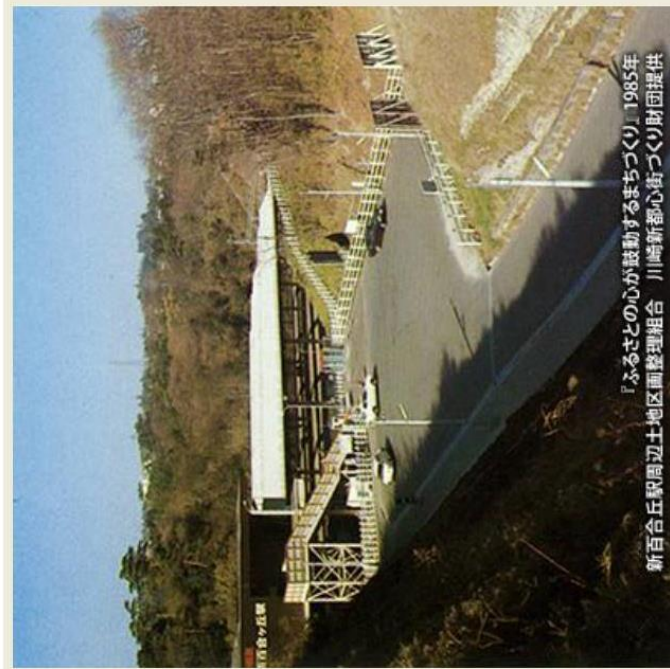


「新百合ヶ丘駅」が開業する2週間ほど前の様子。小田急線の下り線(右側)は新線に切り替わっているが、上り線(左側)は旧線のままという珍しい写真。下ってくるのは、「NSE」の特急ロマンスカー「あしがら」号。多摩線の高架橋も見え。撮影場所は上地形図の②付近。【画像は1974(昭和49)年】



同地点付近の現在の様子。このあたりの旧線の跡は、保線用の用地として使用されている。写真の特急ロマンスカーは2018(平成30)年に登場した「GSE」。

## 「新百合ヶ丘駅」の開業



「ふるさとの心が鼓動するまちづくり」1985年  
新百合ヶ丘駅周辺地区画整理組合 川崎新都心街づくり財団提供

「新百合ヶ丘駅」は1974(昭和49)年に開業した。写真は1977(昭和52)年、現在の南口側の駅前。開業より3年経過しているが、駅前にはまだ建物は見られず、周辺はクスギやコナラの雑木林が広がっていた。この年から駅周辺の土地区画整理事業が始まっている。【画像は1977(昭和52)年】

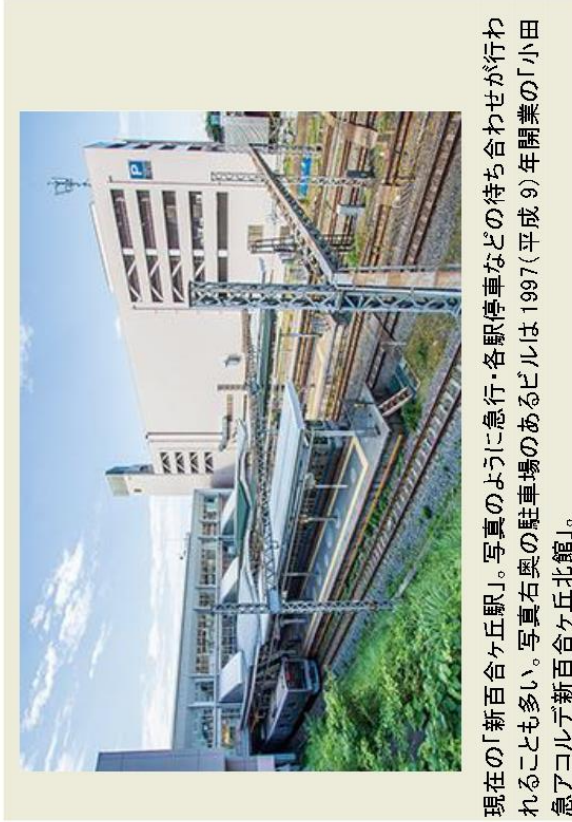


現在の「新百合ヶ丘駅」南口側の駅前。多くの商業施設が立地するほか、バスターミナルから多くの路線バスが発着するなど、交通の要衝にもなっている。



写真は1978(昭和53)年撮影の「新百合ヶ丘駅」。駅の北側(写真右奥)で造成工事が始まっている。

【画像は1978(昭和53)年】



現在の「新百合ヶ丘駅」。写真のように急行・各駅停車などの待ち合わせが行われることも多い。写真右奥の駐車場のあるビルは1997(平成9)年開業の「小田急アコルテ新百合ヶ丘北館」。

### 新百合ヶ丘駅周辺の開発状況：年表

1973(S48)	川崎市が現新百合ヶ丘駅付近を中心とする北部副都心構想を発表した。	1992(H04)	新百合ヶ丘エルミロードが開業。
1974(S49)	小田急多摩線が開通し、新百合ヶ丘駅・五月台駅・栗平駅・黒川駅が開設。	1994(H06)	セゾングループが出店を断念。
1977(S52)	「新百合ヶ丘駅周辺土地区画整理組合」が設立、土地区画整理が開始し、1984(S59)年度に完了した。	1995(H07)	黒川で、かわさきマイコンシティの企業誘致が始まる。
1982(S57)	多摩区のうち旧柿生村・旧岡上村の全域、および旧生田村の一部が分区分し麻生区が誕生する。	1997(H09)	新百合ヶ丘ビブレ開業。6階にシネマコンプレックス。
1986(S61)	バス乗り場が整備された。	2000(H12)	駅北に「万福寺土地区画整理組合」が設立。2008(H26)に完了。
1990(H02)	小田急アコルテ新百合ヶ丘が開業。	～	オーパビル・リソな銀行ビル・WTC 新百合ヶ丘ビル・コナミスポーツビルなどが開業し、川崎市の副都心として発展した。
1991(H03)	川崎市が新百合ヶ丘地域を対象に「芸術のまち」構想を発表する。	2002(H14)	昭和音楽大学が移転。
1992(H04)	「新百合ヶ丘マブレ」が駅南口から延びる歩行者道沿いに開業。	2007(H19)	アートセンター開業。